

【附属釧路義務教育学校】義務教育学校モデル

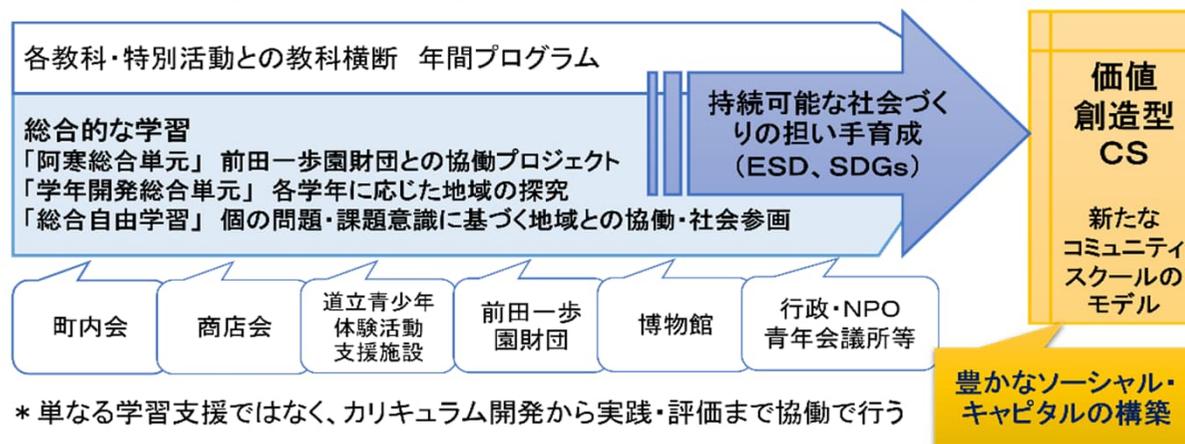
・令和3年度に全国で3番目に設置された附属釧路義務教育学校は、「道東に根ざし9年一貫したリーダーシップ・フォロワーシップの育成」を学びの理念として掲げ、先進的な教育活動を推進している。

・一貫カリキュラムにより、9年間で育む各教科等の資質・能力の系統性を整理して9年間の学びを可視化した系統表を作成した。さらに系統表を基にした実践例の「見える化」、蓄積によって全教員同士の学びを繋ぎ、新たな教育・研究の創出の場として機能している。

・今後の北海道における学校のモデルとして、地域を担う人を育成する義務教育9年間のカリキュラム・マネジメントは、地域の人やもの、ことと関わりながら、地域の課題を探究する「地域学」プロジェクトとしてデザイン・実践している。

・前期課程では身近な町内会から道東の自然保護に携わる人々との関わりを通じて体験活動を中心に展開される。後期課程では地域を巻き込んだ活動を展開し、学習の成果は毎年発信の場を設け、様々な地域で活躍する人材になり得る探求の基礎として単元を組み立てている。

<「地域学」の構想> 見つける、関わる、探究する、協働する、価値を創造する



小学校段階だけではなく、中学校段階を通じて発展的に構成

